

# 未来構想キャラバン つくば市長との意見交換会

第1回  
周辺地区  
子育て世代

発行日：令和元年9月

編集・発行：つくば市 政策イノベーション部 企画経営課

## ◆子育て世代の皆さんと市長がまちづくりを語るキャラバンが開催されました！

つくば市では、今後10年間の総合的な指針である未来構想の策定にあたり、市長とつくば市内周辺地区にお住いの子育て世代の皆さんが、まちづくりについて意見交換をするキャラバンを開催しました。

子育て世代の皆さんからの、貴重な意見をご紹介します。

日時：令和元年9月7日（土）14:30～16:30

会議場所：つくば市谷田部交流センター

参加者：9名（事務局含まず）



## ◆主な意見交換内容

### 1. 子育てをされていて感じていることやどんな環境があるとよいか等について



つくば市内の子育て世代の皆さんから、子育てをされていて感じていることやどんな環境があるとよいか等を伺いました。

#### 子育てについて大変だと思うこと・不安を感じていること

- 子供のいやいや期が大変だった。
- 実際に子育てをしてみて、自分が考えていたこととのギャップを感じた。どうしたら良いのか分からないことがたくさんある。
- 多子家庭なので手が回らない状況だった。また、親族が遠方に住んでいるため、サポートが得られにくい環境だった。子供が成長してからも、習い事等、週末含め送迎に忙しい状況である。
- 共働きで夫婦ともに都内勤務なので、子供が病気等をした際に、保育所の急な呼び出しに対応するのが難しい。また、災害発生時等どうしても対応できない時がある。いざという時に頼れる人、場所がないことに不安を感じている。



#### 子育ての大変な時期をどうしたら乗り越えられると思うか？

- 親同士が互いの悩みを話し合う中で、解決することもある。このような機会の場（たまり場）を周辺地区にも作っていくことが必要だと思う。子供を中心とした場の中で、親同士が繋がりをもてるのが理想だと考えている。
- 周辺自治体含め、市の施設（支援センター等）は、市民以外は受け入れない施設もある。周辺地区は立地的にも他市との距離が近く、互いに交流もあるため、支援センターなどは繋がり場として拠点にもなり得る。市内の施設に限りがあるなか、周辺自治体との連携を強めて欲しい。選べる選択肢が複数あれば良いと思う。
- たまり場として、支援センター以外にも気軽（ふらっと）に立寄れる場所があれば良いと思う。



### ◆お問合せ◆つくば市役所 政策イノベーション部 企画経営課

〒305-8555 茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1 TEL 029-883-1111/FAX 029-828-4708

\*未来構想に関する質問・意見は、政策イノベーション部企画経営課のメールアドレス（pln010★city.tsukuba.lg.jp）まで（なお、メールアドレスの★は、@記号に置き換えて下さい）

## 2. フリートーク - つくば市に望むこと・期待すること -

子育て支援の環境や学校教育について、子育て世代の皆さんから意見をいただきました。また、いただいた意見に対し、市長から今後のつくばのまちづくりについてお話しいたしました。

### 参加者からの意見

- 男性の中には支援センター等、利用しづらい人も思う。気軽に立寄れる場所があれば良いと思う。
- 教育大綱について、親の状況によって子供に格差が生まれないような、人間性を伸ばせる教育の仕組みにしたい。
- 子供がひとりで遊びに行けない環境になっている。地域との繋がりをつくる機会も減りつつあり残念に思う。
- 地域住民全体で見守り、安心して子育てができるまちになって欲しい。理想としては子供達だけでも外で集まることができる環境になれば良いと思う。
- 保育料の無償化について、今ある幼児教育の多様性が失われないように考えてほしい。
- まちづくりにおいて必要なことは、ひとりひとりが当事者意識を持つことだと思う。たまり場についても、主体者としてかかわれる仕組みを考えていく必要があると思う。
- 保育園・幼稚園等、さまざまな子育ての選択があるが、ひとりひとりの課題に寄りそっていくことが大切と思う。

### 市長からの回答・意見（一部）

- ひとりで気軽に立寄れる場所に対するニーズは高いと実感している。今後、検討していきたい。
- 産業の為の人材（グローバル人材等）育成の枠にとらわれない、ひとりひとりに合った子供の為の教育に変えていきたいと考えている。
- 保育料の無料化に関連して、様々な歪が生じている状況。保育需要の増加に対する保育士不足等、課題解決に向けて取り組んでいきたい。
- 「社会をつくる」という当事者意識が良い変化をもたらすと思う。教育大綱においても社会力について言及しているが、大人も含めて社会力のあるまちを目指していきたい。
- さまざまな子育ての選択肢を持てることが大切だと考えている。その為に、公立施設が担うべき役割を改めて考えていきたい。

## 3. 振り返りシートのご意見

最後に、キャラバンに参加された皆さんに振り返りシートをご記入いただきました。「多様な意見が聞けた」「市長と話せてよかった」などのキャラバンの開催に対する前向きな感想とともに、今後のつくば市で取り組んでほしい事柄についてご意見をいただくことができました。

### ○：よかったと思うこと

- 色々な地区、立場の方が来ていたのでそれぞれの経験、考えが聞けて面白かった。市の取組の現状も知れて良かった。
- 市長と直接話せるのは貴重だった。
- ひとりひとりのお話をきちんと聞いてくれる感じが伝わり嬉しく思った。志のある人、自分と同じ問題意識（居場所・つながり・利用者意識の増大）を持っている人がたくさんいることがわかり良かった。
- 少人数で皆さんの話を十分に聞いて本当に良かった。自分が主体で小さなことでも動いてみようと思えた。主婦でもフルタイム勤務でも地域のためにできることがありそうだと感じた。
- つくば市の未来のことについて考えられる機会になって良かった。いろいろな方の意見も考えるきっかけになり良かった。

### △：よくなかったと思うこと

- 若干時間は少なかった。

### □：十分に話せなかったこと

- 牛久市の奥野小学校のような周辺地区の学校に行けるような制度があると、小学校の人口が分散するのではないだろうか？
- 自転車で夜間も移動できるつくばについて。



- 吉沼地区は古い地区なので通学路の車との幅がとても狭くて怖い。

### ☆：自由意見

- 今後も継続して頑張ってもらいたいと思います。方向性には賛同させて頂きたい。
- 子育て世代の社会とのつながりが大切だと感じたので、自分も含めて少しでもできることをやりたい。
- 個人でも、働くママサポートで一時預かりをしたり“ままとーん”に携わったりしていますが、未就学児が集まるとそれはもう大変である。1つの仕事にならないまでも、良いことを続けていけるような仕組みやネットワークづくりが必要かと思う。